



ヒビチュー2016 愛を叫びたい男性及び夫婦を募集！ 日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ 1月28日(木)17時から開催



株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)と日本愛妻家協会(本部:群馬県吾妻郡嬭恋村)は、愛妻の日1月31日を前に、1月28日(木)17時から、日比谷公園(東京都千代田区)の大噴水前で、帰宅途中のサラリーマンなどの男性に、日頃言えない奥様への愛や感謝の言葉を叫んでいただき、愛妻の日テーマフラワー“チューリップ”の花束をプレゼントするイベント「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ 男の帰宅花作戦 2016～男は花を持って家に帰ろう～」(略称:ヒビチュー)を開催します。このイベントに参加する男性(既婚・未婚問わず)・夫婦を募集します。(参加申込方法は以下参照)



昨年開催した「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ(ヒビチュー)2015」の様子

1月31日は“愛妻の日をきっかけに、言葉に出して伝えたい愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の対話を増やして絆を深めよう”という趣旨で行う、今年で9年目となるこのイベントでは、特設ステージ上で、奥様の名前もしくは奥様への感謝の言葉・愛の言葉を大声で叫んで頂いた男性に、愛妻の日テーマフラワーである“永遠の愛”を花言葉に持つチューリップの花束と、割引特典付き「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」、日本愛妻家協会×日比谷花壇 特製ハグマット」をプレゼントします。夫婦での参加も歓迎します。「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」は、“私は、妻というもっとも身近な存在を大切にしている愛妻家です”という宣言付きの名刺サイズのカードで、裏には、愛妻家として忘れてはいけない“奥様の誕生日”、“結婚記念日”、“お二人だけの記念日”を書き込めるようになっています。特製ハグマットは、夫婦の絆を深め対話を促進できる実践マット(紙製)です。

また「ヒビチュー」開催を記念し、「ヒビチュー」参加を検討されている方、参加はできないが気持ちを言葉にしたいという方に向けて、愛の告白やプロポーズにまつわる思い出のエピソードを募集するキャンペーンを1月6日(水)から1月24日(日)まで開催します。(詳細は別紙参照)

- 日 時: 2016年1月28日(木) 17:00～18:00
- 場 所: 日比谷公園 大噴水前 (東京都千代田区)
- 主 催: 株式会社日比谷花壇、日本愛妻家協会
- 参加対象: 男性(既婚・未婚問わず) *夫婦での参加も歓迎 (観覧自由(性別問わず))
- プレゼント内容: 愛妻の日テーマフラワー「チューリップ」の花束(花言葉:永遠の愛)
「日比谷花壇特製 愛妻家宣言証」
「日本愛妻家協会×日比谷花壇 特製ハグマット」
- プレゼントする条件: 特設ステージ上で奥様への感謝の言葉・愛の言葉を大声で叫んで頂いた方
*プレゼントは数に限りがあります。
*未来の妻にむけた愛の言葉の叫びも可。
- 参加申込方法: 以下ウェブサイトの叫び参加申込みフォームから事前にエントリーし、ヒビチュー当日に、日比谷公園大噴水前の叫び参加受付に17時に集合ください。
(事前にエントリーをしていない当日の飛び入り参加の方は、叫び参加受付にて登録をお願いします。)
- イベント詳細: <http://aisai.hibiyakadan.com/#aiwosakebu>
(イベント詳細、参加申込み先ページは1月6日公開予定)

【愛妻の日「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ(ヒビチュー)」開催記念キャンペーン 概要】

- キャンペーン名: 「“あなたのスリーラブストーリーズ*” (愛妻の日篇)」
- 募集内容: 愛の告白やプロポーズにまつわる思い出のエピソード
*ご希望の方は、応募と同時に、「ヒビチュー」への参加予約もすることができます。
- 応募期間: 1月6日(水)~1月24日(日)
- プレゼント: 抽選で5名様に、ヒビヤカダンスイーツをプレゼント
- 応募 URL: <http://love.hibiyakadan.com/#aisai>

*愛妻の日1月31日を含め、バレンタインデー2月14日、ホワイトデー3月14日と、いつもはなかなか伝えられない愛や感謝の気持ちを伝えるチャンスが多い1月から3月の3ヵ月間を、男性から女性に花で想いを伝える3ヵ月を「スリーラブストーリーズ」(<http://love.hibiyakadan.com>)として、ふだんは照れくさくて言えない愛や感謝の気持ちを伝えて絆を深めてもらうことを、花を通じて応援していきます。

日本愛妻家協会について(<http://www.aisaika.org/>)

“妻というもっとも身近な存在を大切にすると世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない”と、日本独自の伝統文化かもしれない愛妻家というライフスタイルを世界に広めていこうと、文化活動を行っています。その象徴の日が1月31日の1をアルファベットの「アイ」、31を「サイ」とかけた愛妻の日です。日本愛妻家協会は、「吾嬬者耶(あづまはや)」「(ああ、わが妻よ、恋しいと嘆き、亡き妻をいとおしんだ「日本武尊(やまとたけるのみこと)」の故事にちなんで村名が付けられたという、群馬県吾妻郡嬬恋村を拠点に活動を行っており、平成20年度地域づくり総務大臣表彰 団体表彰を受賞しています。

株式会社日比谷花壇について(<http://www.hibiya.co.jp>)

1872年創業、1950年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、全国に約180店舗を展開。ウエディング装花、直営店舗及びオンラインショップでの個人/法人向けフラワーギフトの企画・制作・販売、お葬式サービス、各種空間装飾デザイン・ディスプレイ、屋内緑化の設計・施工等を行い、花とみどり溢れるライフスタイルを提案しています。今後も、さまざまな日常の生活のシーンの中に、花とみどりのある生活文化を創造していきます。

当社は、花が、夫婦の絆を深める役割を果たすことができると考え、日本愛妻家協会が行う愛妻の日の活動に賛同し、この「男の帰宅花作戦」の取組みを2008年から毎年展開しています。“永遠の愛”を花言葉にもつチューリップを、日本愛妻家協会が提唱する愛妻の日にあわせたテーマフラワーに制定。“愛妻の日をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の絆を深めよう”とより多くの人々に呼びかける活動を行っています。